

『行動分析家の倫理—責任ある実践へのガイドライン』の出版案内

常磐大学の森山哲美です。日本行動分析学会創立三十年記念出版事業の支援を学会から受けて、Bailey 教授と Burch 教授が著した “*Ethics for Behavior Analysts* ” の翻訳書を二瓶社から『行動分析家の倫理—責任ある実践へのガイドライン』と題して上梓しました。

訳者は、中野良顯先生、鎌倉やよい先生、吉野俊彦先生、大石幸二先生、そして私の5名ですが、「日本行動分析学会・行動倫理研究会」として出版しました。

“*Ethics for Behavior Analysts* ” は、行動分析士資格認定協会 (The Behavior Analysts Certification Board, BACB) のガイドラインを解説した本です。著者である Bailey 教授と Burch 教授は、行動分析家が研究と実践を行うときに遭遇する実際的な倫理上の問題をエピソードとして掲げ、上記ガイドラインに即して、それらの倫理的な問題への具体的な対処法を、行動分析学の研究の成果を踏まえながら提案しています。翻訳の趣旨は訳書の「あとがき」に記しました。

来る8月29日(土)と30日(日)に明星大学で開催される日本行動分析学会第33回年次大会会場で、二瓶社様から展示販売(価格は4200円+税ですが、学会特別割引で販売)される予定です。ぜひお手元においてご覧いただきますよう、よろしく申し上げます。

常磐大学
森山哲美